



## 取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき  
誠にありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、  
正しくお使いください。

※取扱説明書・保証書は大切に保管してください。



### 目次

・安全上の注意	.....	P.01
・各部の名称	.....	P.03
・設置上の注意	.....	P.04
・準備	.....	P.05
・使用方法	.....	P.06
・お手入れについて	.....	P.07
・故障かな?と思ったら	.....	P.09
・ご留意・仕様	.....	P.10
・保証について	.....	P.11

※製品の仕様およびデザインは改善などのため、  
予告なく変更される場合があります。

## 安全上の注意

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するため、誤った取り扱いをしたことで生じると想定される内容を「警告」「注意」の二つに区分しています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を次のような絵表示で区分しています。



注意 禁止



..しなければならないこと

### 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

<p><b>注意</b> 作動中浴槽内に潜らない、または頭髪を吸水口に近づけない</p> <p>頭髪が吸水口に吸いこまれる恐れがあります。</p>	<p><b>禁止</b> 電源プラグ、コード接続のジャック部分に直接水やお湯をかけない</p> <p>感電・火災の原因になります。</p>
<p><b>注意</b> 吸水用のヘッドカバーが緩んだ状態、また、破損した状態、はずれた状態で使用しない</p> <p>頭髪や体の一部が吸い込まれる恐れがあります。</p>	<p><b>禁止</b> 傷んだ電源プラグ、電源コード、ゆるんだコンセントは使用しない</p> <p>感電・火災の原因になります。</p>
<p><b>注意</b> お子様だけの使用はしない</p> <p>大人の監視下で使用してください。</p>	<p><b>禁止</b> 交流100～240V以外では使用しない</p> <p>感電・火災の原因になります。</p>
<p><b>手濡れ禁止</b> 濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因になります。</p>	<p><b>禁止</b> 本体を浴槽のお湯に入れない</p> <p>感電・故障の原因になります。</p>
<p><b>禁止</b> 絶対に分解・改造・修理はしない</p> <p>感電・火災・怪我の原因になります。修理はお客様相談室へご連絡下さい。</p>	<p><b>禁止</b> 本体の上に乗らない、座らない重いものを載せない</p> <p>転倒し怪我をする恐れがあり、製品の故障にもつながります。</p>
<p><b>禁止</b> 本体を落としたり、固いもので叩くなど衝撃を与えない</p> <p>破損、故障の原因になります。</p>	<p><b>禁止</b> 本体を傾斜している場所や水が溜まる場所、不安定な場所には置かない</p> <p>思わぬ事故や故障につながります。</p>



電源プラグは確実に根元まで差し込む

不完全な差し込みは感電・火災の原因になります。



電源プラグにほこりが付着したら必ず取り除く

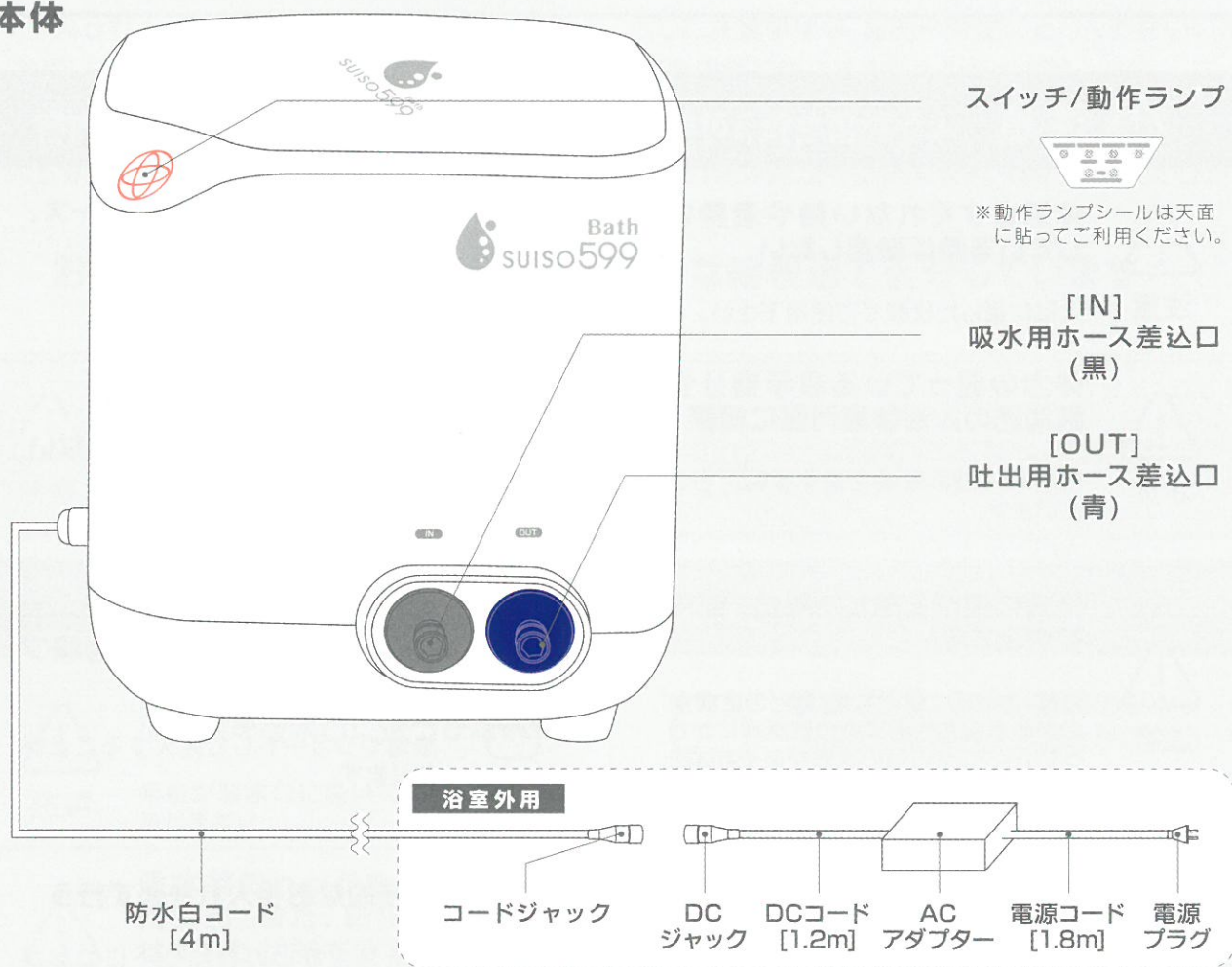
ほこりが付着したまま使用すると火災の原因になります。

### 注意 人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

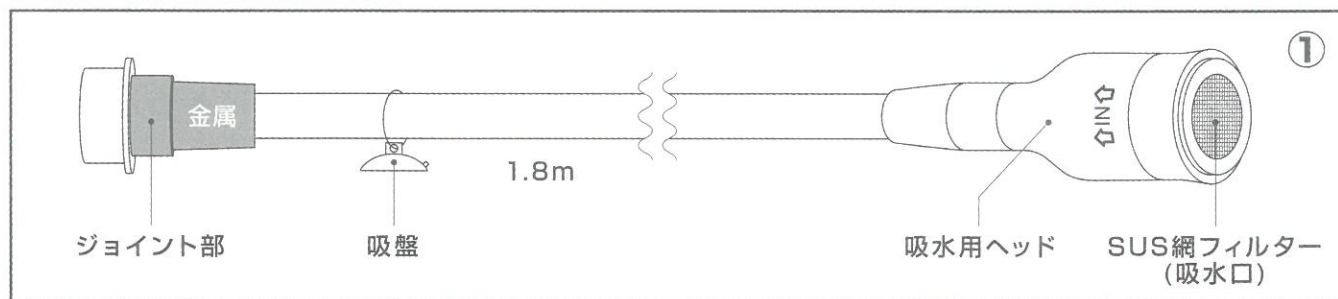
<p><b>注意</b> 体調のすぐれない時や酒酔いしている時は使用しない</p> <p>入浴に適した状態でご使用下さい。</p>	<p><b>禁止</b> 作動中本体から吸水用ホース、吐出用ホースを抜かない</p> <p>故障の原因になります。</p>
<p><b>注意</b> 体力の弱っているお年寄りや乳幼児の入浴は専門医に相談</p> <p>無理な入浴は健康を害する場合がございます。</p>	<p><b>禁止</b> 入浴以外の用途では使用しない</p>
<p><b>注意</b> 体調に異常を感じた場合、使用を中止する</p> <p>湿疹、かゆみ、傷、やけどなどの皮膚疾患がある場合や伝染性の皮膚病にかかっている方、その他の疾患がある方は使用を中止し、専門医にご相談下さい。</p>	<p>電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず先端の電源プラグをもって抜く</p> <p>感電やショートして発火することがあります。</p>
<p><b>注意</b> 作動中、吸水口を浴槽のお湯から出さない</p> <p>本体内に空気が入り故障につながります。</p>	<p>定期的なお手入れを必ず行う</p> <p>水素発生などの機能低下につながります。</p>
<p><b>注意</b> 作動中吸水口をふさがない、また異物を吸い込ませない</p> <p>故障の原因になります。</p>	<p>使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いておく</p> <p>怪我や故障の原因になります。</p>
<p><b>禁止</b> 火気の近く、高温になる場所、直射日光のあたる場所には置かない</p> <p>故障の原因になります。</p>	<p>専用入浴剤以外の入浴剤を使用しない</p> <p>故障の原因になります。</p>
<p><b>禁止</b> 浴槽のお湯を飲まない</p> <p>体調不良の原因になります。</p>	<p>浴水は水道水または飲み水に適した井戸水を使う</p> <p>故障の原因になります。</p>
<p><b>禁止</b> 作動中本体を移動させない</p>	<p>専用入浴剤の使用量を守る</p> <p>稼働中止の原因、故障の原因になります。</p>

## 各部の名称

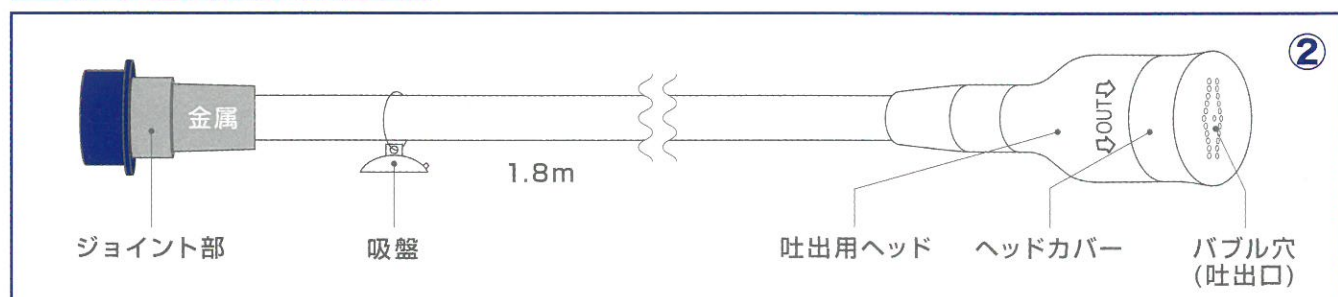
### 本体



### 吸水用ホース(IN)



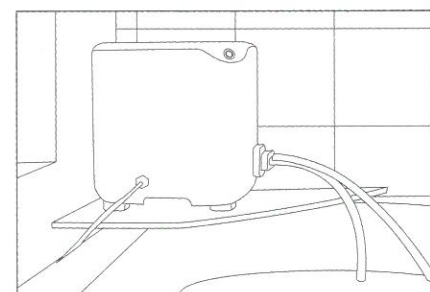
### 吐出用ホース(OUT)



## 設置上の注意

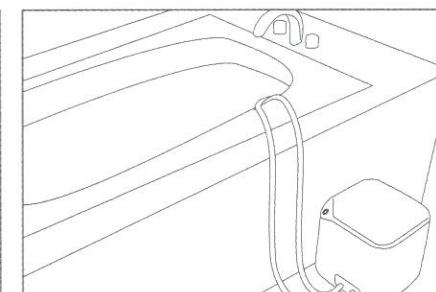
■防水白コードは浴室に使用できますが、DCコード(黒)は防水仕様ではありませんので、浴室では使用できません。また、コードジャックとDCジャックも浴室には入れないでください。

■コンセント、電源プラグ、アダプター、及びジャック部分を決して濡らさないよう注意してください。



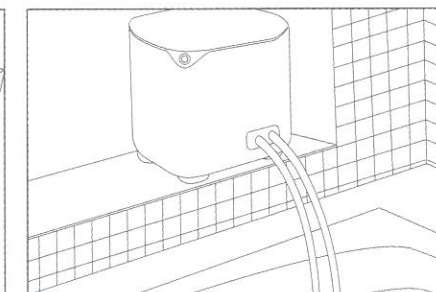
### 浴槽の上に設置

市販のボードなどでしっかり固定



### 洗い場に設置

シャワー使用時に邪魔にならない場所へ



### その他のスペースに設置

浴室の外、出窓などに

### ご注意

- 浴槽より高い場所に置く場合は、濡れても滑らないよう安全な方法で設置してください。
- 浴室内、浴室外共にコード類は邪魔にならないよう、床や壁面に固定するなどしてください。
- ホースは極端に折り曲げないでください。

### 防滴とは?

シャワーや雨水などの水がかかっても内部への浸水を防ぐよう対処している製品が防滴品です。防水製品とは違い、水圧には耐えられませんのでたとえ水深1mの水圧でも故障の原因となります。絶対に浴槽に本体を入れしないでください。

※本体は防滴製品です。

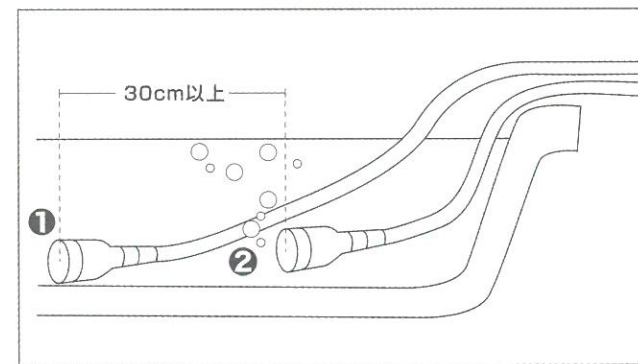
## ホースの方向

- ① 吸水用ホースは浴水(浴槽内の湯)を吸い込むためのものです。
- ② 吐出用ホースは本体で作られた水素と酸素をマイクロバブルにして浴槽内へ吐出します。

※①と②を浴槽へ入れる際、**吸水口と吐出口は30cm以上**離すようにしてください。

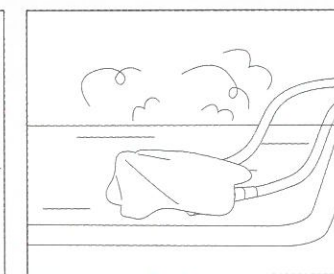
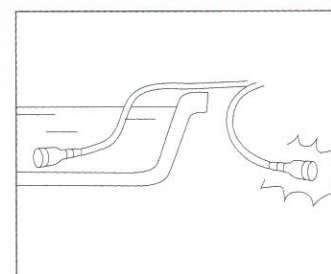
※②から吐出されたマイクロバブルを浴槽内に回遊させるのが効果的です。

※ホースは付属の吸盤で固定してください。特に吸水用ホースはなるべく浴槽の深いところに固定させてください。



### ご注意

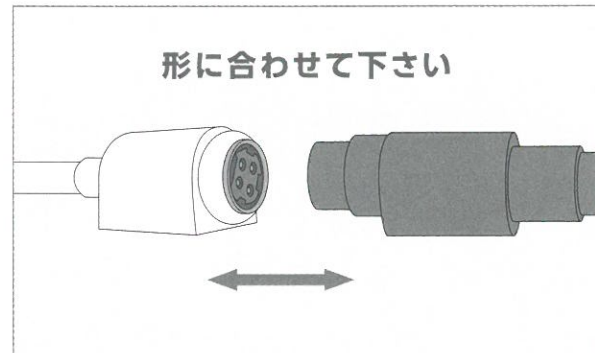
- 吸水口を浴水の外に出した状態で稼働させないでください。故障の原因となります。
- 吸水口と吐出口を近づけないでください。近づきすぎると、稼働させても浴槽にマイクロバブルが行き渡らず、故障の原因にもなります。
- 稼働中、吸水口、吐出口を手やタオルなどで押さえないでください。



## 準備

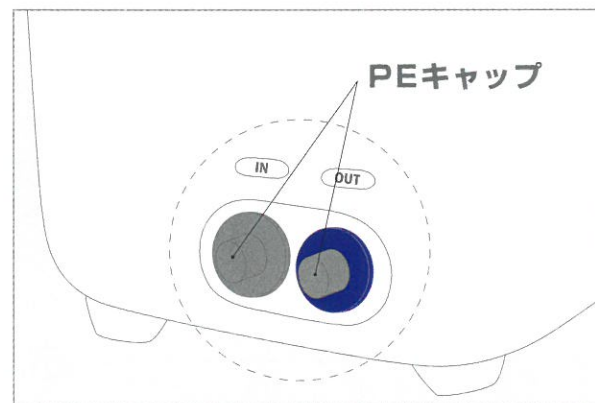
### ～コード接続～

- 防水白コードのコードジャックとDCコードのDCジャックを接続します。

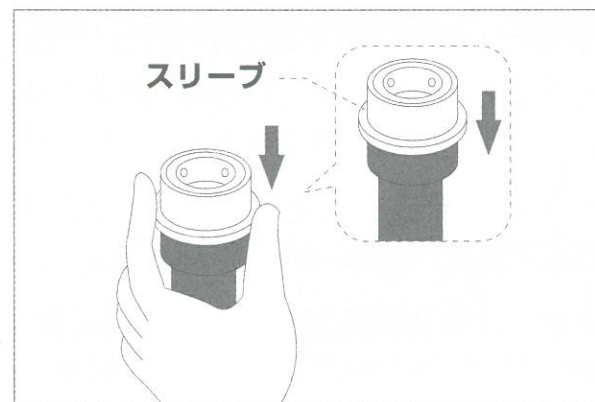


### ～ホース接続～

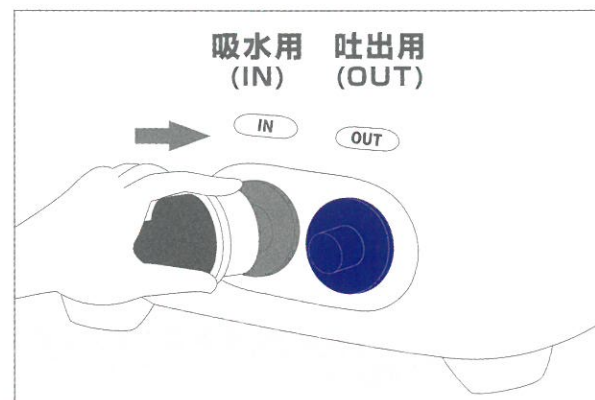
- ① 本体の吸水用差込口と吐出用差込口のPEキャップを外します。  
(稀に作動テストによる残留水が出てくることがございます。)  
※PEキャップは保管してください。



- ② ホースのスリーブを下へ引いたまま、IN側に吸水用ホース(黒)、OUT側に吐出用ホース(青)を間違えないようにそれぞれ連結させます。

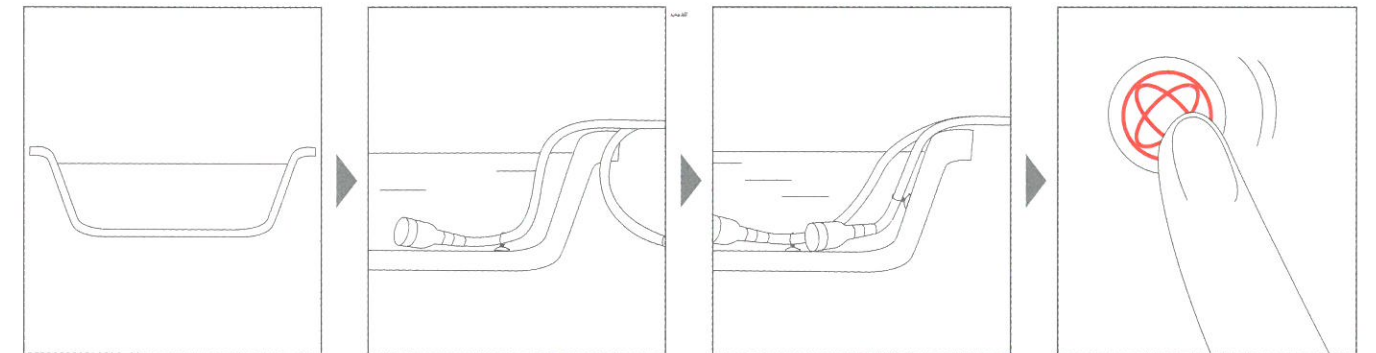


- ③ スリーブを本体側へ押し戻し、しっかりと連結されているか確認をします。



## 使用方法

P.04の設置上の注意をよく読み、本体を設置してから電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。



浴槽に適温の湯を入れます。 吸水用ホースを浴水に沈めて吸盤で固定させます。 吐出用ホースを浴水に沈めて吸盤で固定させます。 お好みのモードでスイッチボタンを押します。

### お好みのモード

- **タッチスタート**:稼働10分+オートクリーン約2分30秒  
(稼働後の目安の溶存水素濃度:180ppb前後)
- **長押しスタート**:稼働15分+オートクリーン約2分30秒  
(稼働後の目安の溶存水素濃度:250ppb前後)

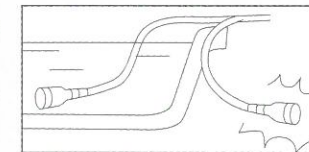
※上記は湯温40℃での計測数値です。  
 ※溶存水素濃度は温度や水質により変化します。  
 ※マイクロバブルはスタートボタンを押して**約1分後**から出始めます。  
 ※オートクリーン:機械内部の洗浄と残留水を吐き出すため2分30秒作動しオートオフします。  
 ※途中で止める場合

稼働中→スタートボタンを押す(タッチ)→稼働終了→オートクリーン開始(2分30秒)→オートオフ  
(オートクリーン中でもスタートボタンをタッチまたは長押しして再スタートが可能です。)

[スタンバイ] 赤点灯	
[タッチ] (10分稼働)	[長押し] (15分稼働)
ブルー点灯	グリーン点灯
▼	▼
[オートクリーン] (約2分30秒)	[オートクリーン] (約2分30秒)
ブルー点滅	グリーン点滅
[ストップ] 赤点灯	

### ご注意

- 稼働中、吸水口を浴水から出さないでください。故障の原因となります。



- オートクリーンの間、電源を抜かないでください。故障の原因となります。



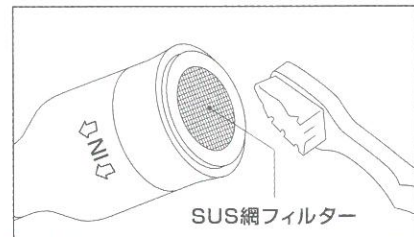
### ご注意

- 浴槽の湯の上に浮かんだ老廃物などは機械の負担となりますので、なるべく除去するようにしてください。
- マイクロバブルで白濁した浴槽内を歩くなどして、吸水用ヘッドや吐出用ヘッドを踏まないよう注意してください。怪我や転倒する場合がございます。
- 入浴剤(タブレット)は吸水口近くに沈めないようにしてください。途中で止まる場合がございます。
- 必ず付属の36Vアダプター及びコードをご使用ください。  
(旧タイプの40Vアダプターはご使用できません。誤って使うと故障の原因になる場合があります。)

## お手入れについて

### 吸水用 (IN) ヘッドの清掃

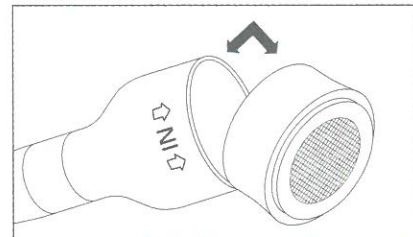
～毎回清掃～



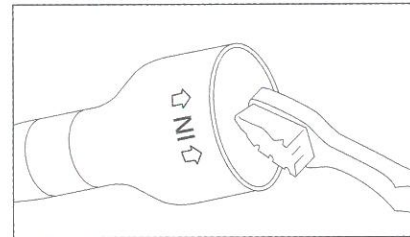
SUS網フィルター

■ SUS網フィルターに付着した異物などの汚れをハブラシなど柔らかいブラシを使って洗い流します。

～定期的に清掃～ (目安: 1ヶ月に1回～2回程度)



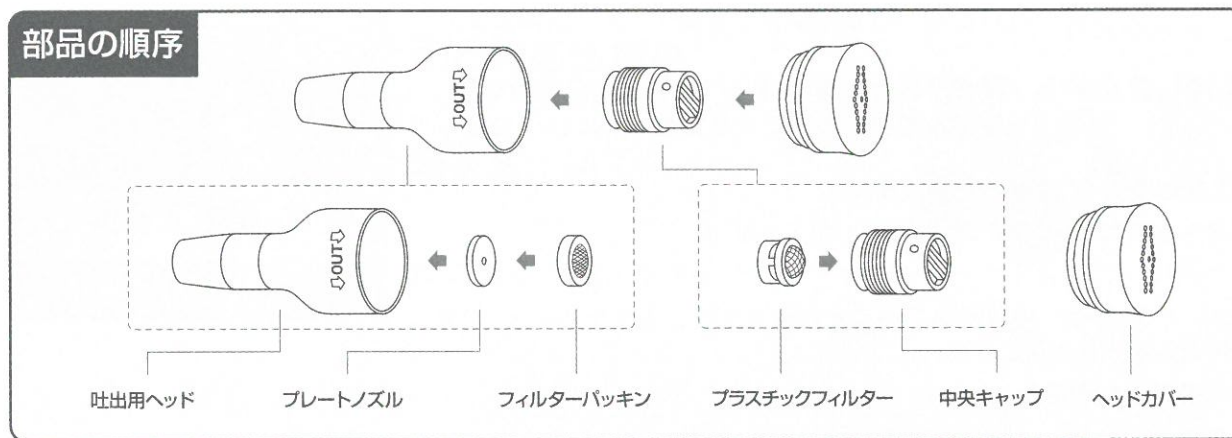
■ ヘッドとヘッドカバーを折り曲げるようにして外します。



■ ヘッド内部をブラシなどで掃除します。汚れがひどい場合は洗剤や漂白剤をご利用ください。

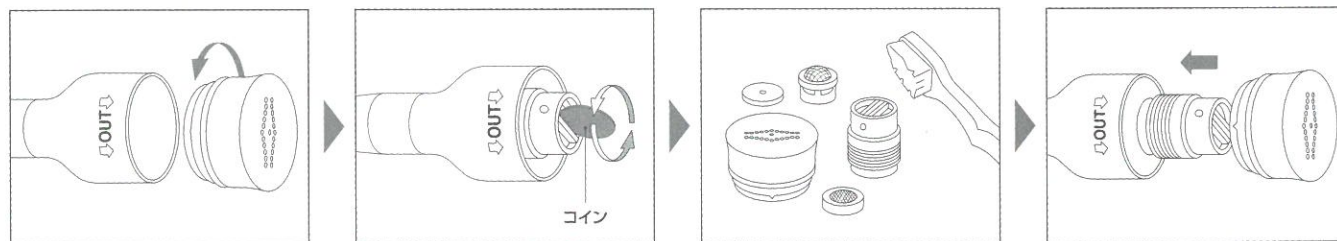
### 吐出用 (OUT) ヘッドの清掃

部品の順序

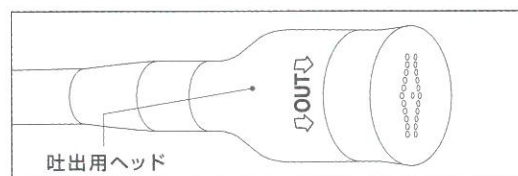


～マイクロバブルが出にくくなった場合～

吐出用ヘッド内部のフィルターに汚着したゴミを取り除きます。



- ① ヘッドカバーを反時計回りに回し、ヘッドとヘッドカバーを外します。
- ② 中央キャップはコインなどを使って外します。
- ③ 取り出した部品を柔らかいブラシ等を使ってきれいにします。
- ④ 上図の順に部品を戻し、中央キャップも右回りに締め、ヘッドカバーも戻します。



吐出用ヘッド

■ 吐出用ヘッドに汚れが付着した場合、ヘッドカバーのバブル穴をハブラシや柔らかいブラシを使ってきれいにしてください。

### ご注意

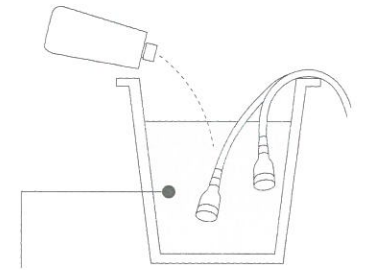
- 稼働中、スイッチボタンが赤く点滅する場合、吸水口のSUS網フィルターまたは吐出用ヘッド内部に異物が多いという信号です。稼働を止め、お手入れをしてから再度ご使用ください。
- 吐出用ヘッドの部品は必ず順番通りに装着して下さい。  
※SUS網フィルター、及びプラスチックフィルターは別売りがございます。

## お手入れについて

### 本体内部(電極板)の洗浄 (目安: 1ヶ月に1回～2回程度)

#### <洗浄>

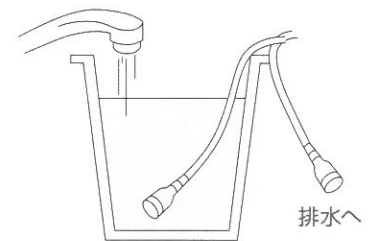
- ① 大きめのバケツなどに電極板専用の洗剤(バイオテクノクリーン)を希釈して洗浄液をつくります。  
※バイオテクノクリーンは別売りです。
- ② 吸水用ヘッドと吐出用ヘッドをバケツの中に入れて稼働させます。  
※5分程度稼働させ、オートクリーンは最後まで行ってください。



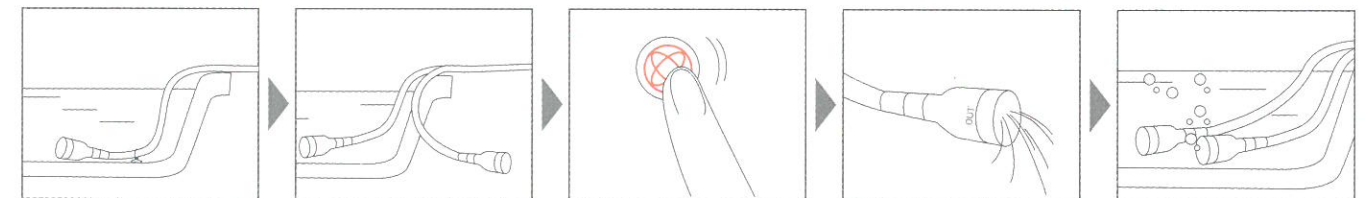
目安: 水5L以上に対しバイオテクノクリーンを10～20ml程度入れます。

#### <すすぎ>

- バケツの水を入れかえ吐出用ホースの吐出口をバケツから出した状態で、水道の蛇口やシャワーから直接バケツに注水しながら5分以上稼働させます。  
※オートクリーンは最後まで行ってください。
- 気になる方は洗浄した後の入浴の際、最初の吐出水は浴槽の外に捨ててください。



※吸水口が水からでないよう水位に注意して下さい。



- ① 吸水用ホースを浴槽に沈め吸盤で固定させます。
- ② 吐出用ホースの吐出口を浴槽の外(洗い場)側に向けます。
- ③ スイッチを入れます。
- ④ 吐出口から空気と一緒に本体内の残留水が排水された後、マイクロバブルのお湯が出ます。
- ⑤ 10秒程してから吐出用ホースを浴槽内に戻します。

### ご注意

- 浴室など濡れても構わない場所で行ってください。
- 洗浄液の泡などが目に入らないようご注意ください。

### 本体外部及びホースについて

- 柔らかい布などで水ぶきしてください。
- 汚れがひどい場合はお風呂用の中性洗剤を使ってください。
- 水滴はなるべく拭き取っていただいた方が衛生的です。
- お手入れの際は本体のコード接続部やホース差し込み口などを傷めないよう注意してください。
- 研磨剤入り洗剤、シンナー、アルコールは使用しないでください。

## 故障かな?と思ったら

以下の項目のような現象のときは故障ではありません。修理を依頼される前にご確認ください。

こんなときは	原因	対処方法
スイッチボタンを 押しても作動しない	電源プラグが抜けていませんか?	確実に差し込んでください
	ジャックが抜けていませんか?	
マイクロバブルが 少ない  または 白濁しない	吸水口が目詰まりしていませんか?	吸水口のSUS網フィルターの お手入れをしてください または 交換してください
	浴槽の中でホースが 折れ曲がっていませんか?	ホースをまっすぐに入れてください
	ホースの連結にゆるみはないですか?	ホースをしっかりと連結させてください
	吸水口・吐出口がタオルなどで 遮られていますか?	遮っているものをすぐに外してください
	本体内部(電極板)の お手入れはしましたか?	本体のお手入れ方法にもとづき、 洗浄作業をしてください(P.08参照)
	吐出用ヘッドの各フィルターが 目詰まりしていませんか?	吐出用ヘッドの清掃作業を してください(P.07参照) または プラスチックフィルターを交換してください
途中で切れる (赤て点滅)	稼働中、吸水口が浴水の中に 入っていますか?	吸水口を浴水にしっかりと 沈めて再度スイッチを入れてください
	前回使用者が、 稼働後のオートクリーンを 最後まで行いましたか?	オートクリーン(2分30秒間)の 途中で電源プラグを抜く等した場合、 次の稼働に支障をきたすことがございます 再度スイッチを入れて稼働させ オートクリーンも最後まで行ってください
本体が異常に 熱くなる	吐出口が目詰まりしていませんか?	ヘッドカバーのお手入れをしてください
	本体の上に衣類やタオルなどを 載せていませんか?	本体の上には何も載せないでください
スイッチボタンに 触れていないのに 作動する	水の浸入を防ぐため 感度の高い静電容量方式の タッチスイッチを採用しています	稀に静電気等で反応する 場合もありますので ご利用時以外は 電源プラグを抜いてください

上記の対処方法で症状が改善しなければ電源プラグを抜き、お客様相談室へご連絡ください。

## ご注意ください

### 湯温について

マイクロバブルのお風呂は身体が温まりやすいため、はじめてお使いの方は2~3℃低い湯温にして入浴されることをおすすめします。

10分程度入浴し、つらいと感じた場合は湯温の調節が必要です。  
安全のため、無理な入浴は避け、リラックスできる湯温でお入りください。

### 冬季の凍結について

ご使用後、本体の中やホースの中には約10mL程度の残留水があります。  
寒冷地においてはその残留水が凍結し、本体内部を傷めてしまう恐れがございますので、  
使用後の保管場所については、ご注意をお願いいたします。

### 長くきれいに使っていただくために

マイクロバブルの効果により、お肌の汚れや老廃物(垢)は浴水に浮遊します。浴水を機械の中へ  
吸い込むという本機の構造上、必ずお手入れを欠かさず行っていただくことと、余分な汚れをなるべく  
浴水に出さないよう、毎日の入浴の際には先にかけて湯や身体を洗ってから浴槽に入ることをお  
勧めいたします。

また、お化粧品に含まれる色素やさまざまな成分は、微量でも機械を傷める原因となりますので、  
お化粧品は必ず落としてからご入浴ください。

## 定格・仕様

電 源	100/240V DCアダプター36V
消 費 電 力	200W
吐 出 量	毎分約4~5リットル
本 体 サ イ ズ	W306×D306×H321mm
電 源 コ ー ド	1.8m
D C コ ー ド	1.2m
防 水 白 コ ー ド (DC延長コード)	4m
吐 出 用 ホ ー ス	1.8m
吸 水 用 ホ ー ス	1.8m
本 体 重 量	約8.5kg
吸 水 口	SUS網フィルター構造

## 保証について

この製品には製品保証登録票及び、保証書が付いています。お客様情報をご登録いただくことで1年間の保証サービスをご提供いたします。

つきましては、別紙の製品保証登録票の右欄に必要事項をご記入の上、返信用封筒にて1枚目と2枚目を必ずお送りください。

3枚目は保証書となりますのでお客様のお手元に保管し、故障の際は製品と一緒にご提示ください。保証期間後の修理につきましては、お客様相談室にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、販売店または下記までお問い合わせください。

## オプション

オプションに関するご注文・お問い合わせは販売店または下記までご連絡ください。

### 専用洗浄液



バイオテクノクリーン  
420mL

### 専用ナノバブルシャワーヘッド



ピナーノ  
ホース全長2m

販売元:株式会社 翔栄ウエルネス

☎0120-313-599

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-8-1 新宿ビルディング 1F

製造元:株式会社オーゾラ